

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 令和4年8月30日

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号

報告回次

3日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	福井市	代表者名	東村 新一
担当者部署	都市戦略部	連絡先電話番号	0776-20-5671
担当者役職	主査	担当者氏名	森瀬 友佳里
		連絡先E-mail	
住所	910-8511 福井県福井市大手3丁目10番1号		

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	家中 賢作
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	課長補佐級を対象として開催した「EBPM・データ活用推進研修」の講義内容が、担当業務等の経験を踏まえた自治体職員目線のものであったことから、非常に説得力のある分かりやすいものであり、終始穏やかな口調で、説明の速度も適切だったため。
アドバイザーへの要望事項	今後も継続的な支援をお願いしたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日 (応募依頼より)	支援内容 (応募依頼より)	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和4年8月22日	講演	有	令和4年8月4日	184
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)
	令和4年8月24日	講演	13時30分	16時10分	0
				活動時間 (分)	160

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】	人数
	主に課長補佐級職員	100人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的に記して下さい)	平成28年度より統計分析研修 (アンケート設計やGIS、EBPM等のテーマ) を開催しているが、市の課題解決においてデータを活用する組織風土は未熟だと感じている。また、職員の各階層ごとの目指すレベルを整理できていないため研修の設計に苦慮している。 DX推進の根幹・土台整備としてのデータ活用およびEBPMの必要性を理解し、能動的に課題解決に取り組める組織風土の醸成が必要となっている。	
支援により目指す成果 (具体的に記して下さい)	課長補佐級に対する研修を実施により、組織全体でDX推進の根幹・土台整備としてのデータ活用およびEBPMの必要性を理解する。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的に記して下さい)	つくば市での人事研修やデータ活用推進等の実績に基づき、EBPM及びデータ活用推進の取組に関してオンラインでご講義いただいた (講義時間90分間)。つくば市での実際の取組の紹介等を通して、EBPMやデータ活用に組織全体で取り組んでいく必要性を受講者が認識できるよう、自治体職員目線で丁寧に説明いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容	・本市の職員研修計画に基づき、予定通り研修を実施することができた。 ・講義を通じて所属内において今後EBPM・データ活用推進に取り組んでいく必要性についてサ	

(具体的にご記入下さい)	講義を通してが体内において、その後、IT、DX推進に取組む上で必要に感じ、共通認識を持つことができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 実施中のアンケートは、令和4年9月下旬を目途に提出する。 ※感染症対策のため、今回の講義を録画したものを2週間の受講期間を設けて受講者に視聴させる開催方式としている都合上、受講期間終了後にアンケートを集計し結果を改めて提出する予定。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿	DX推進の根幹・土台整備としてのデータ活用およびEBPMの必要性に関する理解を促すことで、能動的に課題解決に取り組める組織風土を醸成する。	

未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。
なお、〈その他〉を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

